

コミュニティ・スクール通信

令和5年10月20日（金）第2号

発行者：鶉小学校運営協議会事務局（65-6351 文責 教頭 木村 一夫）

第2回学校運営協議会を開催しました

10月12日（木）鶉小学校において、第2回目の学校運営協議会を開催しました。協議の内容は以下の通りです。



1 前期学校評価結果と後期改善策について

児童・保護者・教職員による学校評価アンケートの結果、それを受け、教職員で確認された後期学校運営の改善策について委員の皆様にも説明いたしました。

『『早寝・早起き・朝ご飯』等の望ましい生活習慣の確立』が課題の一つとしてありますが、委員の皆様からは、「保護者が声をかけないと朝食がなかなか進まないご家庭が多いのではないか。」「朝食を摂らない保護者ももしかしたら多いのでは。」などのご意見をいただきました。学校・保護者が共通理解の下、子供たちの健やかな成長のため、粘り強くはたらきかけていくことの必要性を再確認しました。

子供たちのあいさつについては、「自分から進んで元気にしてくれる子供が多い。」とのご意見をいただきました。

2 熟議「鶉小学校の閉校・統合に向けて必要なことは何か？」

ご存知のように本校は、児童数の減少により、町立学校適正配置計画の対象となっており、閉校・統合が避けられない状況にあります。残された短い期間の中で、子供たちのためにしなければならないことについて熟議を行いました。

委員の皆様からは、『厚沢部小学校との交流の充実』『子供たちの記憶と思い出に残るような鶉小ならではの学びの充実』等のご意見をいただきました。「厚沢部小学校との交流」については、修学旅行等の行事だけではなく、日常の授業・休み時間などの体験・交流を通し、子供たちが新しい環境になじんでいけるような配慮の必要性についてご意見をいただきました。「子供たちの記憶と思い出に残るような学び」については、保護者・地域住民とともに行う活動（運動会・昔の遊び・調理等）、タイムカプセルの取組等が具体例として挙げられました。

学校運営協議会の目的

☆保護者・地域住民・教職員が一体となり鶉地区の子供たちの健全育成を目指します。

☆学校運営について保護者・地域住民から幅広く意見を聞き、社会に開かれた学校づくりを目指します。